



SARscape 5.6

インストールガイド



目次

はじめに.....	2
SARscape のサポートプラットフォーム	2
SARscape の動作環境.....	3
製品が使用できるまでの流れ.....	4
新規ご購入の場合	4
バージョンアップの場合	5
Download and License Center アカウント申請方法.....	6
SARscape のインストール方法	6
SARscape のダウンロード	7
SARscape のインストール	8
Windows 版.....	8
Linux 版.....	12
ライセンスの認証方法	14
認証コードを確認する	14
License Administrator とは	15
License Administrator の起動方法.....	15
マシン固定ライセンスとして認証する	17
ライセンスサーバとして認証する.....	18
Flexnet License Server のダウンロードとインストール.....	18
ライセンス認証する	18
クライアントとしてライセンス認証する.....	20
OpenCL Runtime のインストール.....	22
CPU のみの場合	22
Intel CPU における OpenCL Runtime のインストール方法.....	22
AMD CPU における OpenCL Runtime のインストール方法.....	24
GPU サポートを適用する場合	25
アクセラレータサポートを適用する場合.....	25
インストールに関するお問い合わせ.....	26

はじめに

SARscapeをインストールするには、管理者権限または管理者グループのメンバーであることが必要です。この権限がない場合、インストールプロセスはマシンのシステム構成を変更することができず、インストールに失敗します。SARscapeのインストール終了後、アプリケーションを起動する場合には管理者権限は必要ありません。

注

SARscape5.6 を動作させるためには、ENVI5.5.3以降が必要となります。SARscape5.6をインストールする前に、必ず上記バージョンのENVIをインストールしてください。

インストールを始める前に、弊社のホームページからSARscapeのインストールパッケージをダウンロードする必要があります。ダウンロードの際には、事前のライセンスご購入のアカウント申請が必要となりますが、これらの情報をお持ちでない場合は、弊社

(sales_jp@l3harris.com) までお問い合わせください。

なお、SARscapeはENVI上で実行されるオプションモジュールとなっております。SARscapeのインストールを行うには、事前にENVIをインストールしておく必要があります。

また、古いバージョンのSARscapeをインストールしている場合は、事前にアンインストールを実施してください。

SARscape のサポートプラットフォーム

SARscapeのプラットフォームを以下の表に示します。

表 1. サポートプラットフォーム

OS	サポートバージョン
Windows	10 (64bit)
Linux	Kernel 3.10.0、glibc 2.17、glibcxx 3.4.19 *OpenCL 1.2 runtime
ENVI	ENVI 5.5.3 以降 / 推奨 ENVI5.6

* Linux版では、OpenCL runtime のパッケージをダウンロード

(<https://software.intel.com/en-us/articles/opencl-drivers>) して、インストールを行う必要があります。なお、Windows版はSARscapeのインストーラにOpenCL runtimeのパッケージが含まれており、SARscapeと同時にインストールが可能です。

SARscape の動作推奨環境

SARscapeの最低動作環境と推奨動作環境を以下に示します。SARscapeはENVI上で動作しますので動作環境はENVIに準拠いたしますが、SARデータセットの種類により処理に計算に時間がかかります。コンピュータのリソースとディスク容量を考慮してください。

最低推奨環境:

- メモリ : 8 GB 以上のRAM
- CPU : AVX をサポートする 4コアCPU
- 他 : OpenCL 1.2 ランタイム

推奨動作環境:

- メモリ : 32 GB 以上のRAM
- CPU : AVX2をサポートする 6コア以上のCPU
- 他 : OpenCL 1.2 ランタイム
4GBメモリ以上のFP64サポートのGPU
作業領域として1TB以上の高速SSD

製品が使用できるまでの流れ

新規ご購入の場合

1. ご購入と納品

弊社から製品を新規ご購入いただきますと、本紙、簡易手順書、各種書類をご郵送にてお届けいたします。

2. Harris Download and License Center アカウント申請

P6「Download and License Center アカウント申請方法」の手順で、当社 WEB サイトより Harris Download and License Center へのアカウント申請を行ってください。Harris Download and License Center ではお客様のライセンス情報の確認と、製品のダウンロードを行っていただけます。

3. Harris Download and License Center にログインする

アカウントをご申請いただくとご申請いただいたメールアドレス宛に Harris Download and License Center から以下の 2 種類のメールが送信されます。メールを確認して Harris Download and License Center にログインしてください。

- ①「Harris Download and License Center へようこそ」という件名のメール
Harris Download and License Center のログイン ID を確認してください。また、Password Finder のリンクよりパスワードを設定してください。
- ②「Maintenance ID...」のように件名が Maintenance ID から始まるメール
ご購入いただいたライセンス一覧と、ライセンス認証コードをご案内いたします。ライセンス認証コードは製品インストール後のソフトウェアライセンスの設定で使用します。

4. Harris Download and License Center から製品ダウンロード

P6「SARscape のインストール方法」の手順で、製品をダウンロードしてください。

5. 製品のインストール

P8「SARscape のインストール」に従い、OS に応じた手順でインストールしてください。

6. ソフトウェアライセンスの設定

P14「ライセンスの認証方法」に従い、ご希望のライセンス形態に応じた手順でライセンス認証を実施し、製品を使えるようにします。

7. 製品の起動

ENVI/IDL インストールガイドに従い、起動する OS に応じた手順で ENVI を起動してください。

バージョンアップの場合

1. バージョンアップ申請

P6「Download and License Center アカウント申請方法」の手順で、当社 WEB サイトよりバージョンアップ申請を行ってください。お客様のご登録情報とライセンス保守契約の確認をさせていただきます。

2. バージョンアップしたライセンスの認証コードを確認する

バージョンアップ申請が処理されるとライセンス管理者としてご登録いただいているメールアドレス宛に Harris Download and License Center からライセンス認証コードと保守契約期限を記載したメールが送信されます。**認証コードは、新規購入時とは別の新しい認証コードが送信されます。**

「Maintenance ID...」のように件名が Maintenance ID から始まるメールにて
ご購入いただいているライセンス一覧と、ライセンス認証コードをご案内いたします。ライセンス認証コードは製品インストール後のソフトウェアライセンスのバージョンアップ設定で使用します。

3. Harris Download and License Center から製品ダウンロード

P6「SARscape のインストール方法」の手順で、製品をダウンロードしてください。
Harris Download and License Center のアカウントは新規ご購入時に設定したものをご利用ください。

4. 製品のインストール

P8「SARscape のインストール」に従い、OS に応じた手順でインストールしてください。

5. ソフトウェアライセンスバージョンアップの設定

P14「ライセンスの認証方法」に従い、送信された新しい認証コードを用いて、同一マシン上で認証中のライセンス形態に応じた手順でライセンス認証を実施すると、お手持ちのライセンスのバージョン情報が更新されます。認証する際は、**“事前の Deactivate はせずに”**新しい認証コードの Activate を実施してください。

6. 製品の起動

ENVI/IDL インストールガイドに従い、起動する OS に応じた手順で ENVI を起動してください。

Download and License Center アカウント申請方法

ご購入いただいたライセンスの情報の確認と製品のダウンロードのために Harris Download and License Center へのログインが必要です。ログイン ID とパスワードを入手するために以下の手順で当社 WEB サイトからアカウントを申請してください。すでにログイン ID とパスワードをお持ちの方は SARscape のインストールへ進んでください。

1. 以下の URL にアクセスしてください。

【Harris Download and License Center アカウント申請 URL】

https://www.harrisgeospatial.co.jp/register_newlic_jp.aspx

2. WEB ページに従って申請フォームに入力し、送信ボタンをクリックしてください。
初めてライセンスを発行される方は、新規に、すでにライセンスをご利用で新バージョンのご利用を希望されるかたはバージョンアップ申請を選択してください。

SARscape のインストール方法

この項では、SARscapeのダウンロードとインストール方法について説明します。まず、SARscapeをインストールする前に、必ずSARscapeが対応しているENVIをインストールしてください。ENVIのインストール方法についてはENVI/IDLインストールガイドを参照してください。

SARscapeのインストールプログラムは、インターネットでのみの配布となります。SARscapeのインストールを行う場合は、Download and License Centerよりダウンロードを行い、最新版のSARscapeのインストールパッケージを入手してください。

インストール実行中にコンピュータを再起動するように要求される場合があります。保存していない情報が消去される事を防止するために、インストール前に開いているファイルをすべて保存し、使用しているアプリケーションはすべて終了してください。

SARscape5.6は、OpenCL Runtimeのインストールも必要となります。詳細は、22ページの、「OpenCL Runtimeのインストール」の項をご確認ください。

SARscapeのダウンロード

SARscape は、Harris Download and License Center よりダウンロードしていただけます。ここでは Harris Download and License Center からの製品ダウンロードの手順を説明します。

1. 以下の URL より Harris Download and License Center にログインしてください。

【Harris Download and License Center URL】

<https://harrisgeospatial.flexnetoperations.com>

2. Downloads の Browse My Software and Documentation で **Harris** をクリックし、**ENVI** をクリックしてください。

The screenshot shows the Harris Download & License Center interface. The left sidebar contains navigation menus: Software Downloads & Notices (with 'Downloads' highlighted), Active Licenses, Administration, My Account, and Get Help. The main content area is titled 'Download & License Center' and includes an 'ACTION REQUIRED' notice, 'Recent Emails' (showing no recent emails), and 'Recent Files Posted' with a list of links for SARscape 5.6. At the bottom, the 'Browse My Software and Documentation' section shows 'My Products' and 'Product Lines', with 'ENVI' highlighted in yellow. A yellow callout box with an arrow points to the 'ENVI' link, containing the text: 'ENVI を選択してください。Product Information のページが表示されます。'

図 1 : Product Download

3. Product Information のページから製品とバージョンを確認し SARscape のリンクをクリックしてください。Product Download のページが表示されます。
4. Product Download のページから製品のダウンロードを行います。インストールするマシンの OS に対応するインストーラをダウンロードしてください。📄マークをクリック

するとダウンロードが開始されます。

【SARscape】

Windows の場合： SARscape x.x for Windows

Linux の場合： SARscape x.x for Linux

※x.x はバージョンを示します。

The screenshot shows the 'Product Download' page for SARscape. The page title is 'Product Download' and the sub-header is 'SARscape'. There are three tabs: 'Files', 'Download Log', and 'Notification Log'. A 'Download Help' link is visible. The main content area contains a disclaimer and a table of files. The table has columns for 'File Description', 'File Size', and 'File Name'. The files listed are:

File Description	File Size	File Name
SARscape 5.6 for Windows	978.1 MB	SARscape_v560.exe
Release Notes for SARscape 5.6	192.8 KB	SARscape_Release_Notes56.pdf
Instructions for installing SARscape 5.6	7.9 MB	SARscape_Installation_Notes56.pdf
SARscape 5.6 for Linux	1.1 GB	SARscape_linux_v560.tgz
SAR Functional Summary	136 KB	SARscape_FunctionalSummary56.pdf
Cluster Installation Procedure	528.5 KB	SARscape_Cluster_Installation.pdf
SAR Cluster in a nutshell	527.1 KB	SARscape_Cluster_in_a_nutshell.pdf
3rd party software acknowledgements	487.6 KB	sarmap_3rdparty_ips.pdf

図 2 : Product Download

5. ダウンロードが完了しましたらインストールに進んでください。

SARscapeのインストール

古いバージョンの SARscape がインストールされている場合は、SARscape5.6 のインストール前にアンインストールを実施してください。

Windows 版

Windows 版の SARscape をインストールするには、管理者権限または管理者グループのメンバーであることが必要です。

1. ダウンロードしたファイルの「**SARscape_v560.exe**」を右クリックし、「管理者として実

行」を選択し、実行してください。

2. インストールウィザードが表示されます。**Next**をクリックしてください。

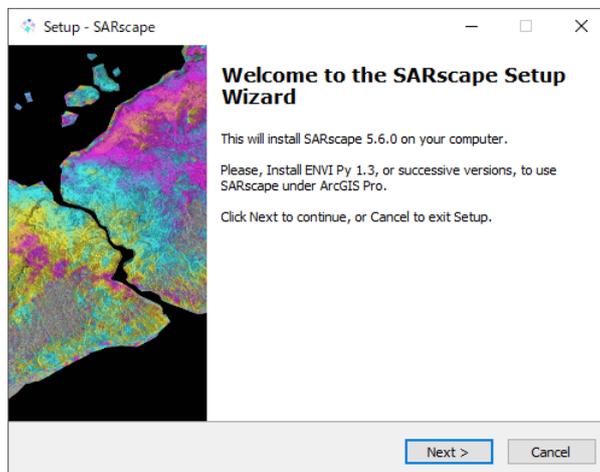


図 3. インストールウィザード起動画面

3. **License Agreement**ダイアログが表示されます。ライセンス同意書を読み、続行する場合は「I accept the agreement」にチェックを入れ、**Next**をクリックします。
4. **Select Destination Location**ダイアログが表示されます。デフォルトではインストールフォルダとしてローカルハードディスクドライブの”C:\Program Files\SARMAP SA\SARscape”が表示されています。デフォルトフォルダにインストールする場合は**Next** をクリックしてください。

別の場所にインストールする場合は、**Browse..**をクリックしてください。

Select a Folder ダイアログで別の場所を選択し、**OK**をクリックしてください。

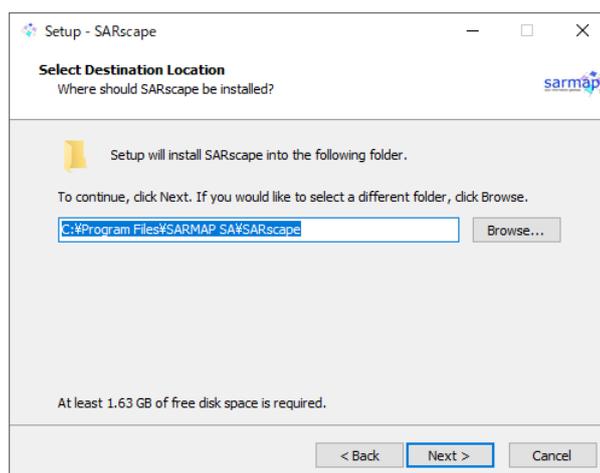


図 4. インストール先選択画面

5. **Select Additional Tasks**ダイアログが表示されます。Intel CPUのOpenCL Runtimeをイ

インストールする場合は、「Install Intel OpenCL CPU-only runtime」へチェックをし、**Next**をクリックしてください。手動にてOpenCL Runtimeのインストールを行う場合は、22ページの、「OpenCL Runtimeのインストール」の項をご確認ください。

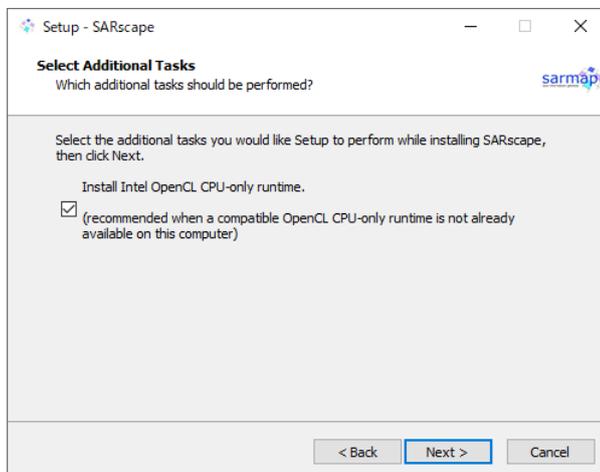


図 5. 追加項目選択画面

6. **Ready to Install**ダイアログが表示されます。配置先、追加のタスクを確認し、インストールを続ける場合は、**Install**をクリックしてください。保存先などに変更がある場合は、**Previous**をクリックし、前の画面へ戻り設定を変更してください。インストールを行わない場合は、**Cancel**をクリックし、ウィザードを終了させてください。
7. SARscape のインストールが終了すると、自動的にOpenCL Runtime のインストール画面が起動します。前バージョンなどで OpenCLのインストールを行っている場合は、その旨のメッセージが表示されてスキップします。OpenCL Runtime をインストールする場合は、**Next**ボタンをクリックしダイアログに従ってインストールを行ってください。すでにOpenCLがインストールされている場合は、その旨のメッセージが表示されてスキップする場合がございます。

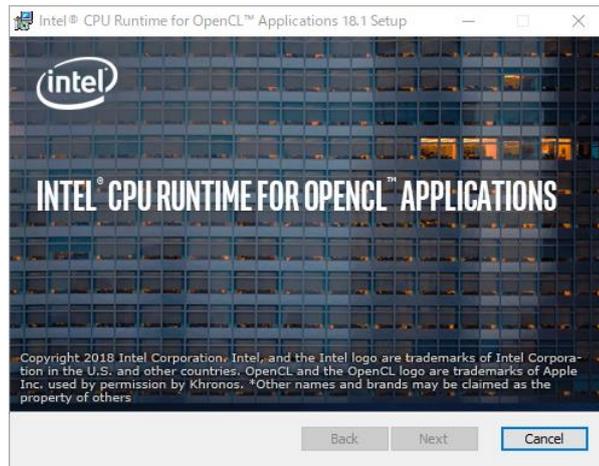


図 6. OpenCL Runtime インストール画面

8. SARscapeとOpenCL Runtimeのインストールが終了しましたら、**Completing the SARscape Setup Wizard**ダイアログが表示されます。**Finish**をクリックし、ウィザードを閉じてください。

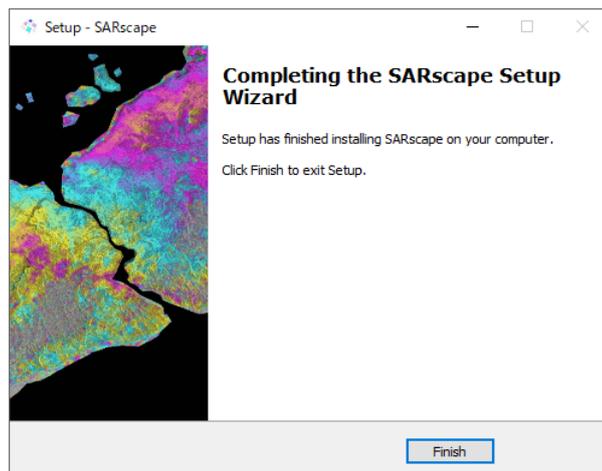


図 7. インストール終了画面

9. インストールが終了し、ライセンスの設定が完了した後にENVIを起動してください。ENVIのToolboxに、SARscapeのメニューが追加されていることを確認してください。

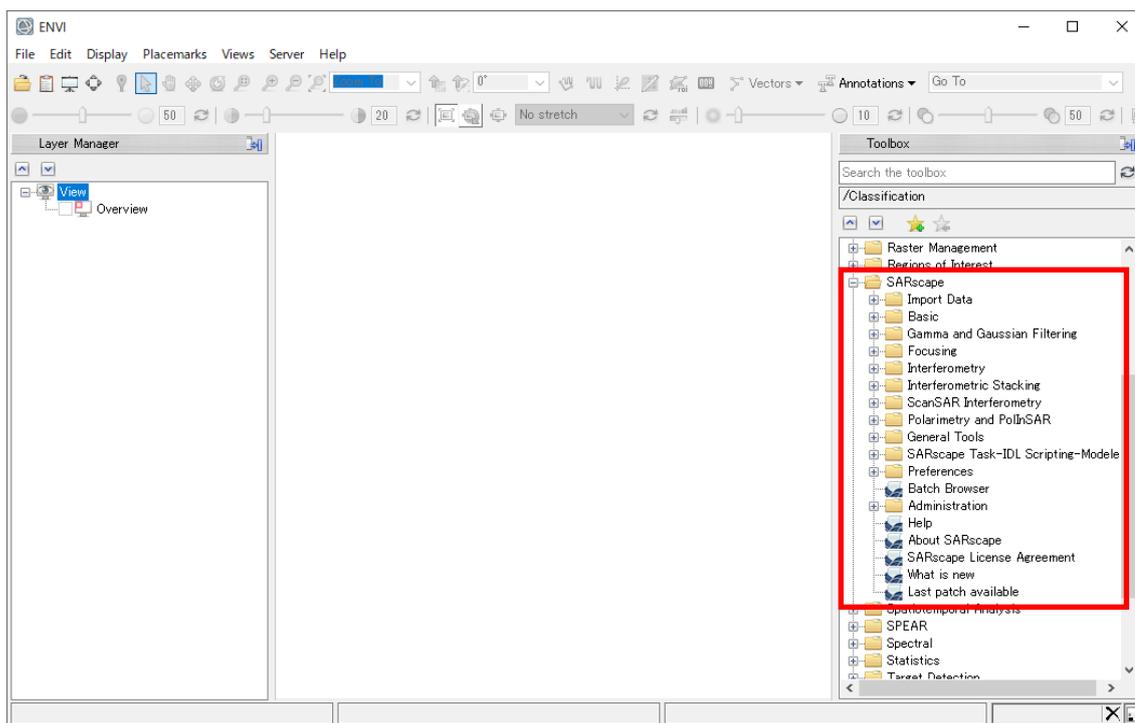


図 8. ENVI メニュー

Linux 版

Linux 版の SARscape をパブリックディレクトリにインストールする場合は、インストールスクリプトを実行する前に、ログインしているユーザがルートまたは同等のアクセス権が必要です。Linux 版の SARscape のインストールは、ターミナル内にて行ないます (GUI ベースではありません)。

1. ダウンロードしたファイル「SARscape_linux_v560.tgz」を任意のフォルダにコピーします。

例：

```
/usr/local/temp
```

2. Xtermなどのターミナルを起動し、以下のコマンドでファイルを解凍します。

```
tar -zxvf SARscape_linux_v560.tgz
```

解凍すると、

SARscape_linux_v560 フォルダと install.sh ファイルが作成します。

3. インストーラを実行します。解凍したディレクトリ内の「install.sh」を使用し、インストールを開始します。

```
./install.sh [/INSTALL_DIR] [/ENVI_DIR]
```

※INSTALL_DIRはSARscapeをインストールするディレクトリを示しています。

※ENVI_DIRはENVIをインストールしたディレクトリを示しています。

例：

ENVI5.6へインストール

```
./install.sh /usr/local/harris /usr/local/harris/envi56
```

4. 同意書を確認し、yesかnoを選択してください。

Accept agreement [y/n]：

yを入力し、**Enter**をクリックすることで、インストールが開始されます。

5. コンソールに以下の表示がありましたら、インストールが完了です。

Completed

6. ご利用のマシンにOpenCLランタイムがインストールされていない場合は、インストールが必要となりますので、P.22「OpenCL Runtimeのインストール」へ進み、OpenCLランタイムをインストールしてください。

ENVI5.6を起動しSARscapeのメニューが追加されていることを確認してください。

(ENVI5.3以前のバージョンのメニューからは削除されます)

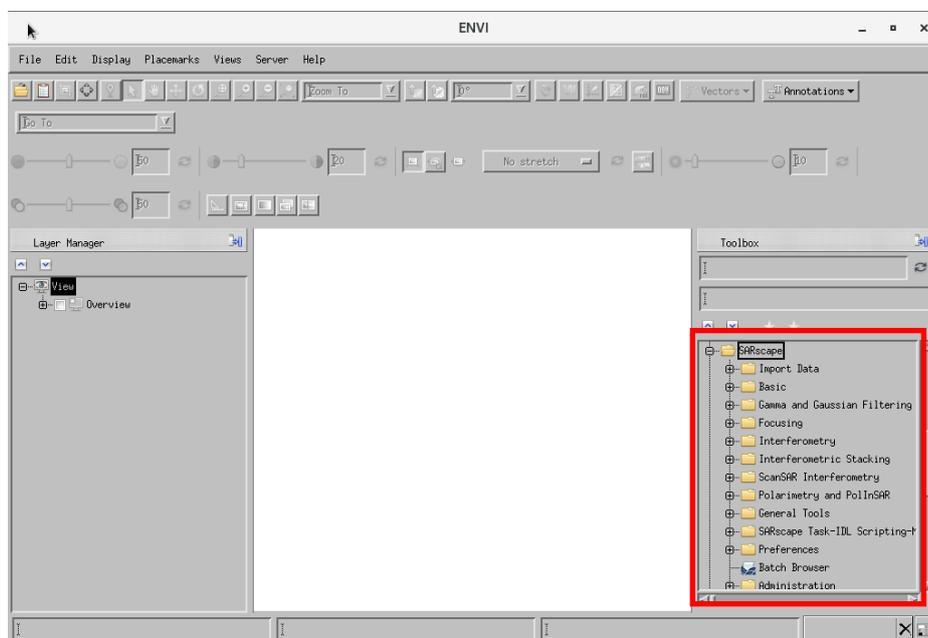


図 9. Linux ENVI メニュー

ライセンスの認証方法

SARscape のライセンス認証には、ENVI の Harris License Administration Tool を使用し、ダイアログに認証コードを入力します。

ライセンス設定には、Windows の場合は管理者権限または管理者グループのメンバーであること、Linux の場合にはルートユーザの権限が必要です。権限がないユーザでは正常に設定できないため注意してください。また、ご利用のライセンス形態によりライセンスの設定方法が異なります。認証コードをご確認いただいた後、以下のように進んでください。

- マシン固定ライセンスの場合：
P17 「マシン固定ライセンスとして認証する」に進んでください。
- フローティングライセンスのライセンスサーバの場合：
P18 「ライセンスサーバとして認証する」に進んでください。
- フローティングライセンスのクライアントの場合：
P20 「クライアントとしてライセンス認証する」に進んでください。

認証コードを確認する

マシン固定のライセンス、またはライセンスサーバとしてライセンスを認証する場合には、認証コードが必要です。Harris Download and License Center からの「Maintenance ID: XXXXXXXX - Harris Download and License Center」という件名のメールを確認してください。メール内の 16 桁の数字が認証コードです。各製品、オプションモジュールごとに発行されます。

HARRIS
GEOSPATIAL SOLUTIONS
DOWNLOAD AND LICENSE CENTER

Username 様

このたびは弊社ソフトウェアおよびサービスをお選びいただきまして、誠にありがとうございます。

“Harris Download and License Center”より、該当のソフトウェアをダウンロードしてください。

お客様の認証コードは以下のとおりです。

XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

お客様の認証コードにおいて、以下のソフトウェアが提供されます：

ソフトウェア	認証コード	数量
ENVI+IDL License	XXXX-XXXX-XXXX-XXXX	2

お客様はいつでもご自身のライセンス情報を閲覧することができます。“Harris Download and License Center”より“Search Entitlements”を選択し、お客様の MAINTENANCE ID: MNT-5503861 にて検索を行ってください。

もしご不明な点やご意見等ございましたら、こちら⇒“Contact us”までご連絡いただきますようお願いいたします。

今後とも弊社製品・サービスをよろしくお願いいたします。

Exelis VIS株式会社

本ソフトウェアはアメリカ合衆国の輸出規制に関する法律および規制に準拠しております。当該製品を管轄政府機関の書面による事前承認なしに、輸出規制における該当および規制にて禁止されたいかなる輸出生、エンドユーザー、エンドユースへの輸出/再輸出は認められておりません。

<http://www.harrisgeospatial.com Privacy Policy>

HARRIS
GEOSPATIAL SOLUTIONS

図 10 : Maintenance ID: XXXXXXXX - Harris Download and License Center

License Administratorとは

License Administrator とは、グラフィカルユーザインターフェース (GUI) ベースのライセンス管理ツールです。ライセンスの認証と無効化、ラーセンスサーバの認証と無効化、クライアントとしてのライセンスサーバへの接続などを簡単におこなっていただけます。

License Administrator の起動方法

ここでは License Administrator の起動方法を記載します。

Windowsの場合：

Windows10の場合

スタート画面 > すべてのアプリ > ENVIx.x > Harris License Administrator

Linuxの場合：

ターミナルから以下のコマンドを入力してください。

```
# harrislicense
```

License Administrator を起動すると以下のダイアログが表示されます。

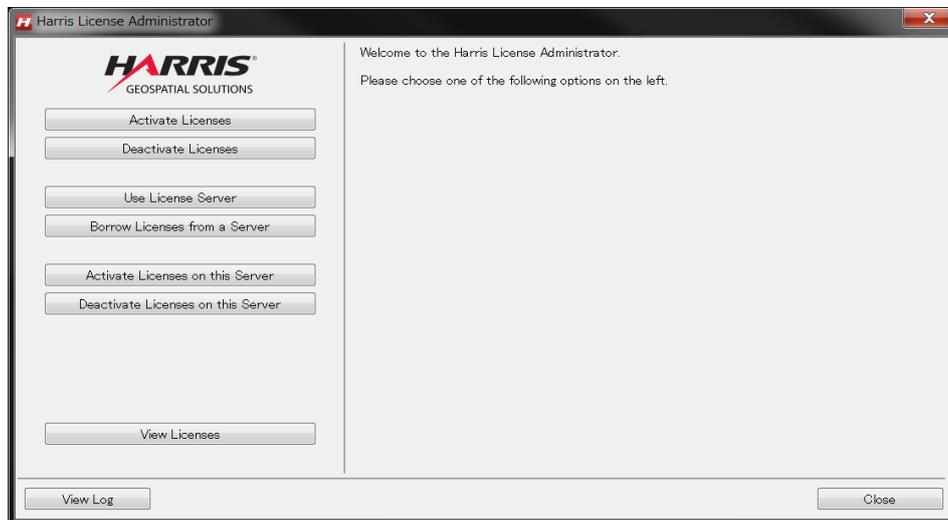


図 11 : License Administrator

マシン固定ライセンスとして認証する

ここではマシン固定のライセンスとしてライセンス認証する手順を説明します。この手順はコンピュータがインターネットに接続している必要があります。インターネットに接続していることを確認してから実施してください。ここではLicense Administratorを使用したライセンス認証の手順を説明します。

1. P15「License Administrator の起動方法」を参照し、License Administrator を起動してください。すでに起動している場合は次の手順に進んでください。
2. **Activate License** ボタンをクリックしてください。
3. 右側のテキストボックスに認証コードを XXXX-XXXX-XXXX-XXXX のように入力してください。（4桁ごとにハイフンを挿入し16桁の数をすべて半角で入力します。）同時に複数の認証コードを入力することができます。その場合は改行して入力してください。
4. **Quantity** に認証するライセンス数を入力し、**Activate** ボタンをクリックしてください。

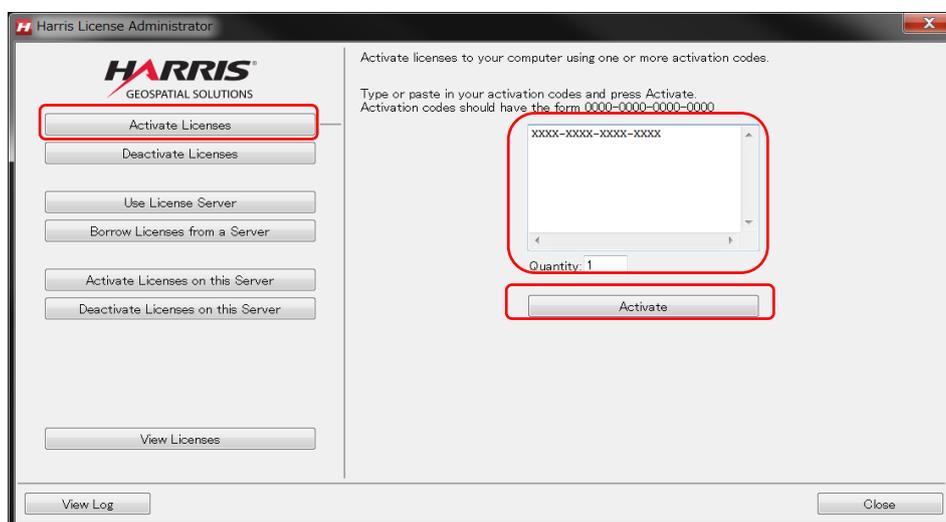


図 12 : Activate License

5. 以上で認証が完了です。License Administrator を閉じてください。ENVI を起動して SARscape ツールをご確認ください。

ライセンスサーバとして認証する

ここでは、ライセンスサーバとしてライセンス認証する手順を説明します。

Flexnet License Server のダウンロードとインストール

ライセンスサーバとして認証するには別途 Flexnet License Server のインストールが必要です。インストーラは Harris Download and License Center からダウンロードできます。ENVI 使用時に既にライセンスサーバ設定をしている場合は、Flexnet License Server のインストールは必要ありません。ダウンロードとインストール手順詳細は、ENVI56/IDL88 インストールガイドの P25「ライセンスサーバとして認証する」に詳しく記述されておりますのでご参照ください。

ライセンス認証する

ライセンスサーバとしてライセンス認証する手順を説明します。ここでは License Administrator を使用してライセンス認証する手順を説明します。

1. P15「License Administrator の起動方法」を参照し、License Administrator を起動してください。すでに起動している場合は次の手順に進んでください。
2. License Administrator の左側で Activate Licenses on this Server ボタンをクリックし、右側の画面からポート、認証コード、ライセンス数を入力します。Port はライセンス認証で使用する TCP ポートで、デフォルトは 7070 です。任意のポートに変更していただけます。テキストボックスに認証コードを XXXX-XXXX-XXXX-XXXX のように入力してください。（4桁ごとにハイフンを挿入し 16桁の数をすべて半角で入力します。）同時に複数の認証コードを入力することができます。その場合は改行して入力してください。
3. Quantity に認証するライセンス数を入力してください。

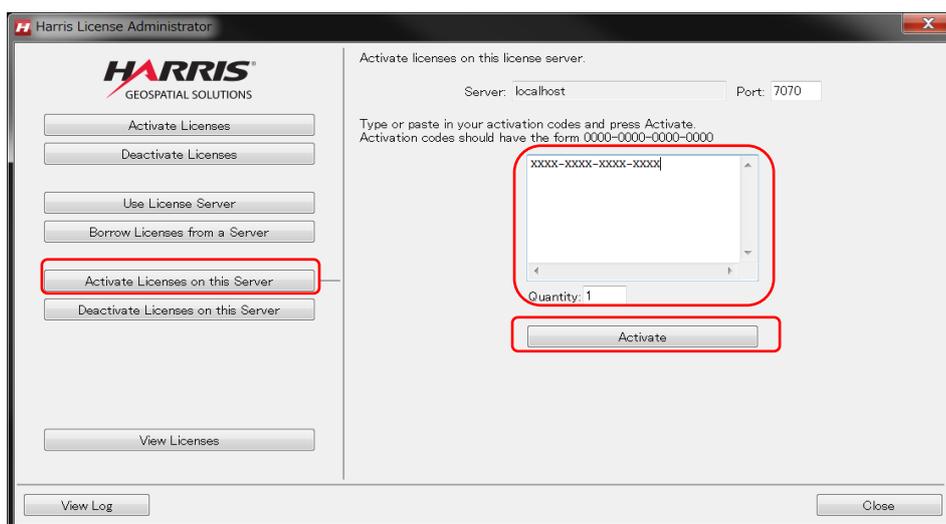


図 13 : Activate Licenses on this Server

4. **Activate** ボタンをクリックしてください。
5. 以上でライセンスの認証の完了です。ライセンスサーバとして認証した場合、サーバマシン上で製品を起動する場合もクライアントとしての設定が必要です。P20「クライアントとしてライセンス認証する」に進んでください。

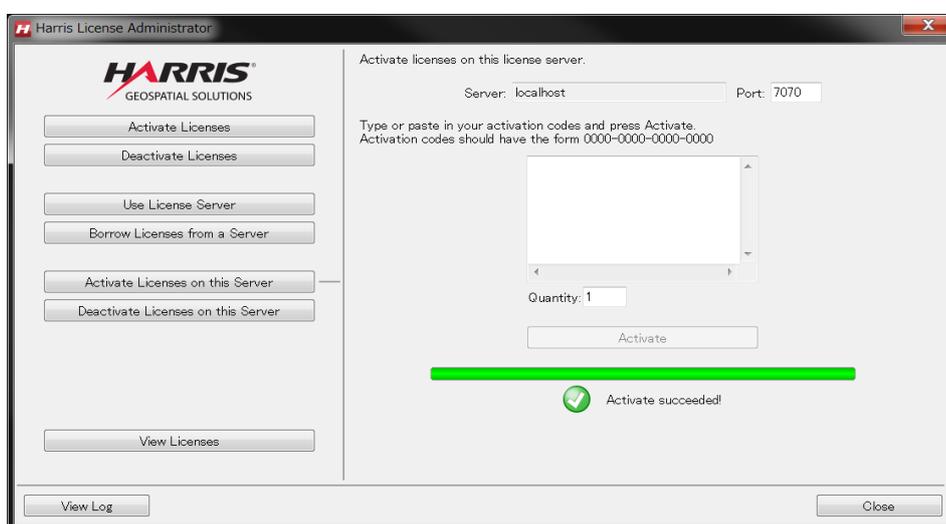


図 14 : Activate succeeded

クライアントとしてライセンス認証する

ライセンスサーバのクライアントの設定について説明します。クライアントとしてライセンス認証を行うには、**License Administrator** を使用してライセンスサーバに接続します。ライセンス認証を正常に行うためには、ライセンスサーバが正しく起動している必要があります。

1. P15「License Administrator の起動方法」を参照し、**License Administrator** を起動してください。すでに起動している場合は次の手順に進んでください。
2. 左側の **Use License Server** ボタンをクリックしてください。
3. **Server** にライセンスサーバマシンのコンピュータ名か IP アドレスを入力し、**Port** 番号を変更する場合はポート番号を入力してください。
4. ※ライセンスサーバ上でクライアント設定をする場合は、「localhost」と入力します。

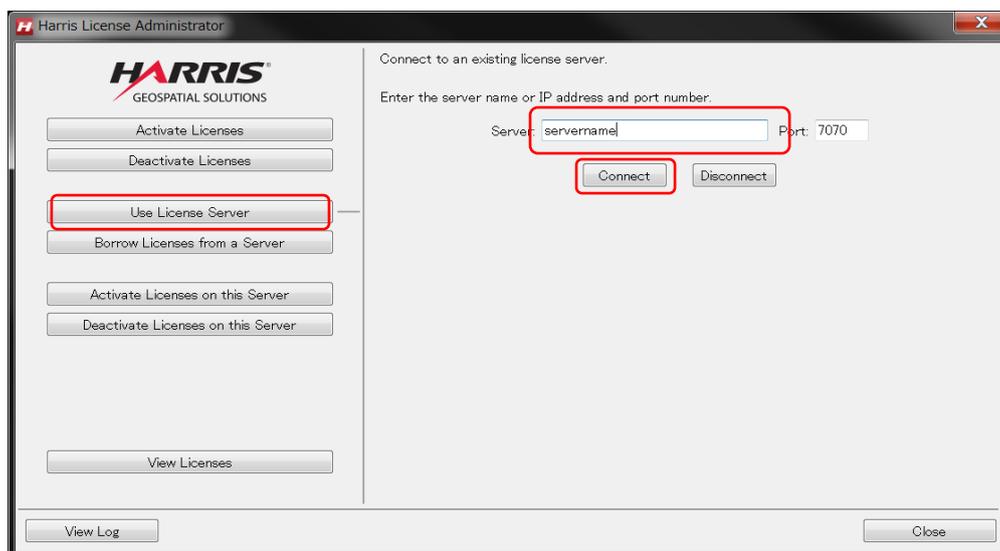
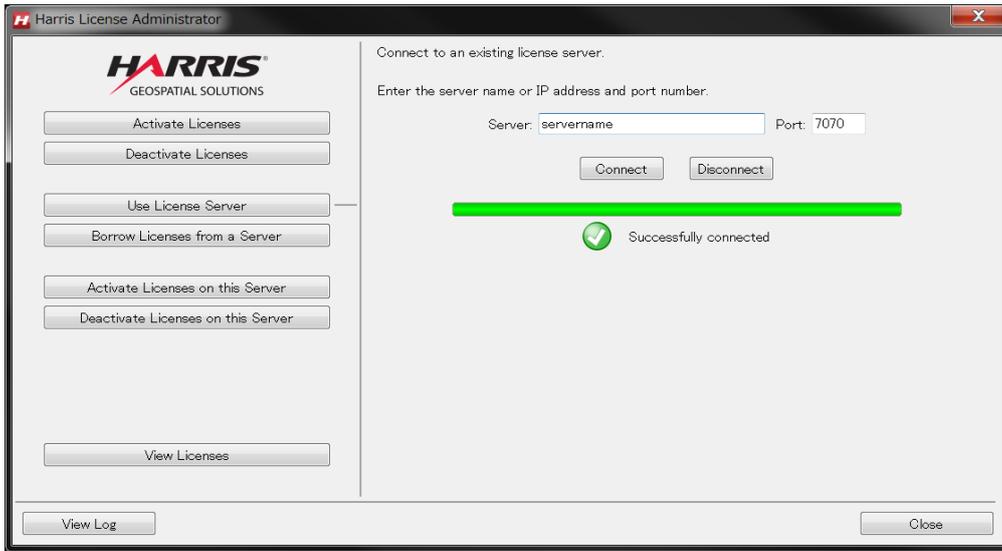


図 15 : Connect to an existing license server

5. **Connect** ボタンをクリックするとライセンスサーバへの接続が完了します。ENVIを起動してSARscapeツールをご確認ください。また、**View Licenses** ボタンをクリックすると、認証されているライセンスが表示されます。



☒ 16 : Successfully connected

OpenCL Runtime のインストール

SARscape5.1 から処理速度の向上のため、GPGPU 利用して並列化処理を行う技術を採用しました。そのため、SARscape5.6 を使用するためには、OpenCL Runtime をインストールする必要があります。

※インストールには、管理者権限または管理者グループのメンバーであることが必要です。

注

OpenCLのインストールについての詳細は、以下のURLでも紹介しています。

<http://sarmap.ch/ocl/opencl-install.html>

CPUのみの場合

OpenCL では CUDA とは異なり、ベンダ特定の GPU を使用せず CPU のみでも並列化処理が可能です。**Windows 版 Intel CPU の OpenCL Runtime のみ、SARscape のインストール時にインストールされた場合は、以下の手順は必要ございません。**

Intel CPU における OpenCL Runtime のインストール方法

インテルの Core i7/i5/i3 といった、最近の Intel CPU に対して、適用することが可能です。それ以前の古い型番の Intel CPU に OpenCL Runtime を適用しても SARscape の機能が正常に動作しません。AMD をご利用の方は、24 ページの「AMD CPU における OpenCL Runtime について」をご参照ください。

注

Windows版 Intel CPUのOpenCL Runtimeのみ、SARscapeのインストール時に選択してインストールすることが可能ですので、インストールされた場合以下の手順は必要ございません。

1. Intel CPU の OpenCL Runtime を、以下のインテルのホームページよりダウンロードしてください。OpenCL Runtime にある該当の OS をクリックし、**Downloads** ボタンをクリックし、保存してください。

<https://software.intel.com/en-us/articles/opencl-drivers>

OpenCL™ Runtimes for Intel® Processors

By [MICHAEL C. \(Intel\)](#), published on July 19, 2018, updated October 30, 2018

[Translate](#)

DEPLOY OPENCL™ RUNTIMES

Obtain runtimes to execute OpenCL™ applications on Intel® Processors

- [Intel® Graphics Technology](#) (Intel® GEN Compute Architectures only)
- [Intel® Xeon® Processor or Intel® Core™ Processor](#) (Intel® x86/x86-64 only)
- [View Intel® FPGA enabling products.](#)
- [View Legacy OpenCL™ Deployment Webpage](#)

図 17. Intel OpenCL Runtime ダウンロードページ

2. Windows では、保存されたインストーラをダブルクリックし、実行してください。
3. Linux の場合、Xterm などのターミナルを起動し、以下のコマンドでファイルを解凍します。
例) `tar -zxvf openccl_runtime_15.1_x64_5.0.0.57.tgz`
4. 解凍後、インストーラを実行します。
例) `openccl_runtime_15.1_x64_5.0.0.57/install_GUI.sh`
5. Windows、Linux とともにインストールウィザードが開始しますので、ウィザードに従って進めてください。
6. コンピュータを再起動してください。コンピュータ再起動後、OpenCL Runtime 確認のため、ENVI を起動してください。
7. ENVI の Toolbox から、**SARscape** → **Preferences** → **Preferences Common** をダブルクリックし、Preferences ダイアログを起動します。
8. 左の項目から、**General parameters** を選択し、右の項目にある **OpenCL Platform Name** を確認します。Intel(R) OpenCL が指定されていない場合は、フィールド内の矢印をクリックし、Intel OpenCL を選択してください。

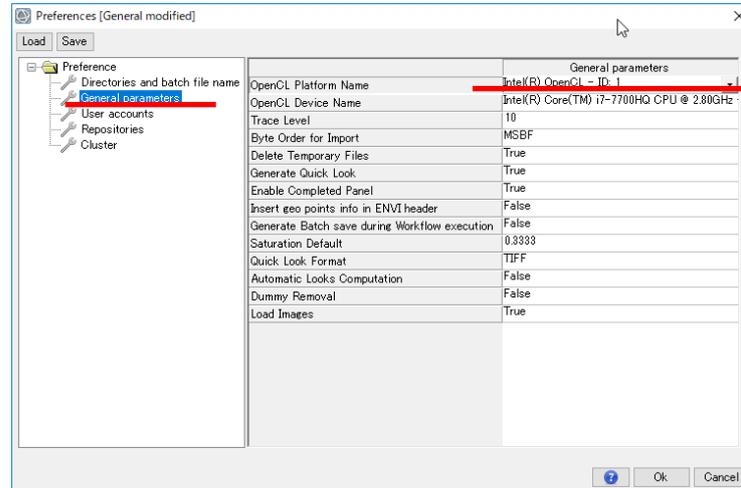


図 18. SARscape Preferences Common ダイアログ

AMD CPU における OpenCL Runtime について

2018 年より、AMD は CPU デバイスのサポートを中止しました（参照：<https://community.amd.com/thread/230440>）。それに伴い、AMD CPU の OpenCL Runtime のダウンロードページも閉鎖されたため、AMD 用の OpenCL Runtime は入手することができません。従いまして、SARscape をインストールするマシンでは、Intel CPU のご利用を推奨いたします。

AMD CPU をご利用の場合は Intel CPU 用の OpenCL Runtime の使用をご検討ください。最新の Intel 用 OpenCL Runtime と互換性がない場合は、旧版の Intel 用 OpenCL Runtime の使用をご検討ください。AMD CPU でのご利用および OpenCL Runtime のインストールに関するサポートは、各メーカーのサポート窓口にてお問い合わせください。

GPUサポートを適用する場合

GPU に対応する OpenCL Runtime ですが、通常は各ベンダ様より提供される GPU ドライバにて対応できます。正式なドライバのフルバージョンをインストールしないと OpenCL が使用できない場合があります。Windows の場合、最小限の機能のみインストールされていることがあり、その場合は GPU での処理が有効にできないため、各ベンダ様のホームページより最新のドライバをダウンロードし、インストールを行ってください。

SARscape での利用は、1GB 以上の VRAM と FP64 サポートの OpenCL1.2 準拠の GPU が必要です。各ドライバのバージョンの指定はありませんが、最新の GPU ドライバを使用することを推奨いたします。

ドライバダウンロードページ：

NVIDIA:

<https://www.nvidia.com/Download/index.aspx?lang=jp>

Intel:

<https://software.intel.com/en-us/articles/opencl-drivers>

AMD:

<https://www.amd.com/ja/support>

アクセラレータサポートを適用する場合

Intel Xeon Phi coprocessor を搭載している場合、ドライバは以下の URL からダウンロードしてください。

<https://software.intel.com/en-us/articles/opencl-drivers>

注

GPUのドライバやハードウェアに関連する変更は他アプリケーションに影響がある場合があります。他アプリケーションやドライバでのエラーについては、弊社にて責任を負いかねますので、その点につきまして、予めご了承の程お願いいたします。

インストールに関するお問い合わせ

SARscape のインストールやライセンス設定に関しましてご質問がある場合は、弊社の製品技術サポートにお問い合わせください。

お問い合わせ先：

Harris Geospatial 株式会社

製品技術サポート

support_jp@L3harris.com

